

神奈川県生活支援サービス担い手養成研修
あなたのチカラを地域で活かそう！（H29年度プログラム紹介）

【当日のプログラム】

午前 9：30～12：30 講師：よこはま地域福祉研究センター センター長 佐塚玲子

■ オープニング

■ 講義 1

・高齢者福祉サービスの今、超高齢社会の今を知ろう

超高齢社会の背景と社会保障制度改革の動向についてグラフや事例などを用いてわかりやすく伝え、高齢者生活支援など支え合いのアクターとして、シニア世代の活躍に期待があることへの理解を促す。

・高齢者の理解、認知症の理解

高齢者の身体的、心理的な特徴や症例について、クイズ形式などを用いて楽しみながら学ぶ。一方高齢者の生活能力、健康寿命の伸長などにも触れ、多様な状態像の高齢期に想像力を持てるようにする。

・担い手に必要な心得と手法

孤立や不安を抱える状況の改善、認知症への配慮などを踏まえて、地域のボランティアとして必要な心構えなどを知る。

午後 13：30～16：30 講師：よこはま地域福祉研究センター 理事 吉川典子

■ 講義 2

・生活支援サービスってどんな取り組み？

午前の講義からつなげて、では具体的に何をすればよいか？について想像力が持てるような事例などを紹介する。個人の趣味や得意の中こそが活動の入り口となり、担い手も楽しみながら支え合いの仕組みを作っていくマインドの必要性にも触れる。

■ DVD 視聴

・神奈川県内の元気な生活支援サービスの活動紹介

県内で継続的に活動する 4 つの取り組み例を当センターが取材したオリジナルの DVD を使用。リアルな事例紹介によりさらに活動イメージを広げる。DVD は地域特性や受講者の状況に応じてセレクトする。

■ 講義③

・「コミュニケーション」の必要性と方法

・生活支援サービスに役立つ実践法の紹介

■ ワークショップ

・私たちのまちの生活支援サービスをつくろう！

KJ法を用いてのブレインストーミングと認識共有。5～6人のグループで「地域に必要なサービス」と「自分にできること」について書き出しメンバーで共有し合う。

・ワーク結果の共有

グループワークの全体に向けた発表。

■ 本日のまとめ

企画調整のポイント

- ① 研修実施にご協力いただく団体様とは、事前に打ち合わせをし、地域や参加者の状況をヒアリングしたうえで、プログラム内容を調整します。
- ② DVD については事前に内容をご確認いただき、選んでいただくことも可能です。

※30年度のプログラムは今後県と協議の上作成するため、上記の限りでない可能性があります。